

麻布大学同窓会広島県支部総会の開催について

平成30年度（第49回）麻布大学同窓会広島県支部の総会及び懇親会を平成30年2月18日（日）に広島市内のホテルセンチュリー広島で開催しました。

今回の総会は、昨年度役員改選を行い新役員での初めての開催でした。経験の少ない新役員が、前役員の方々の支援をいただき、なんとか例年並みの会員の参加をいただいて、盛会に行うことができました。

とは言え、例年25%程度の参加者ですので、もう少し参加者が増えるといいなと思っておりますが、仕事の関係、家庭サービス、親の介護等で出席できない方もおられるのではないかと推察しております。

総会は、お決まりの事業報告、収支決算等の議案を行い、承認をいただき、同窓会本部から、今年は、麻布大学小動物臨床研究室の圓尾拓也先生に来ていただき、花を添えていただきました。

例年、大学から来られる先生には、大学の関係『大学の現状と将来』をテーマに講演をいただき、今の大学のおかれている状況や学生の状況、機器や設備の整備等卒業後の大学の変遷やその時代に合った大学のトピックス等のお話をお聞きしていました。

今年は、圓尾先生から、『鼻腔腫瘍に対する診断と治療』と題した、臨床の先進治療のお話を伺いました。私ども臨床関係以外の同窓会員は、若干理解しにくい面もありましたが、会員が獣医医療の最先端の講演を受けることができ、同窓会に固執せず、会員のためになる、勉強になる話もどんどん入れる必要があるのかなと痛感しました。

獣医学だけでなく、環境、食品、臨床検査等、それぞれの分野の先生をお呼びしてこういったお話を聞く機会は、相互理解を得るためにも非常に重要だと思われました。

最後は、最もメインの懇親会を盛大に行いました。今年、初めて同窓会に入会した若い会員から大先輩まで参加して、仕事の枠を超えて、人脈を作り育て、何かの時には同窓生のために力になれる先輩あるいは後輩になれるといいなとお酒を酌み交わしながら考えました。同窓会の良さを改めて感じる一日でした。 《文責 支部長 田中啓一（S47卒）》

